

国勢調査

にご協力ください



9月23日から調査員が伺います

十月一日、全国一斉に国勢調査が行われます。国勢調査は、大正九年から五年ごとに行われ、十六回目にあたる今回は、二十一世紀の日本を考えるための基礎資料になる重要なものです。

国勢調査は、我が国に住んでいるすべての人を対象として行われる最も基本的な調査で、その結果は、福祉、雇用、教育、住宅、環境整備など、わたしたちの暮らしに密着した問題について、国、県、市町村が行う行財政施策の重要な資料として利用されます。

九月下旬から十月上旬にかけて、調査員がお宅にうかがいますので、よろしくご協力をお願いします。

一戸一戸に調査票をお届けします

調査は国→県→市→指導員→調査員→各世帯の流れで実施され、各世帯で記入された調査票は、この逆の流れで最終的には国に集められ、集計が行われます。

今回の調査では、五十二人の指導員と四百五十二人の調査員が、十月一日を調査日として、九月二十三日から三十日までの間に受持ち調査区のすべての世帯とそこに住んでいる

すべての人を把握し、各世帯に調査票を配付して記入のお願いをします。記入していただいた調査票は、十一月一日から八日までの間に調査員がもう一度各世帯を訪問して回収します。

調査員が回収した調査票は、すべて市、県を経て国（総務庁統計局）に送られます。国でそれを審査し、集計をします。

日本に住んでいるすべての人が対象です

この調査の対象となるのは、我が国に住んでいるすべての人です。このため、調査票は下宿や間借りをしている人にもお配りします。また、旅行などで自宅を留守にする人は、その期間が三カ月以上にわたる時はその旅行先で、三カ月未満の時は自宅でそれぞれ記入していただきます。特に、次のような人は記入漏れにならないようお願いします。

- 旅行などで一時留守になる人
- 三カ月以上にわたり長期出張や滞在している人
- 生まれたばかりの赤ちゃん（産院などに入院中の場合も自宅で記入してください）
- 住み込みの従業員やお手伝いの人